

The Y's men's Club of *Kyoto Prince*

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's MEN'S CLUB

SANJOU YANAGINO BANBA KADO NAKAGYOU-KU KYOTO JAPAN, GIP 604-8083
URL <http://www.prince-ys.com>

TEL 075-231-4388

強調月間
IBC, DBC

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANES EVERY RIGHT"



Bulletin
2009. 1

2009年 1月1日号発刊
第27巻 7号
通巻277号

会長主題 (CP)

廣井武司

主題

「友情の輪を拡げよう」

スローガン

和・話・輪

WA WA WA

「心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。」
マタイによる福音書 第5章3節

国際会長 (IP)

V. S. Bashir (India)

主題

“Be the Light of Hope” 「希望の灯となろう」

スローガン

“Share with a smile” 「分かち合いは微笑をもって」

アジア会長 (AP)

Rita. Hettiarachchi (Sri Lanka)

主題

“Be the Light of Hope” 「希望の灯となろう」

スローガン

“Working Together to Serve Better”

「より良き奉仕のためにともに働こう」

西日本区理事 (RD)

佐藤典子 (熊本ジェーンズ)

主題

「思いやりを持ってワイズライフを！」

“Enjoy Y's life with Consideration!”

—わかち合いは微笑をもって—

—Share with a smile—

京都部部長

藤田寿男 (京都ウイング)

主題

「意識を持って活動に参画しよう！」

—555実現に向けて—



にこにこ

10月第一例会 9,000円
10月第二例会 10,000円
累計 43,000円



ファンド
じゃがいも 320,095円
すいか 24,200円
その他 5,128円
累計 349,423円



BFポイント
切手 0p
現金 0p
累計 0p



12月第一例会 11名
12月第二例会 17名
メーキャップ 0名
在籍者数 20名
出席率 85.0%

We are family

We are family

We are family

We are family

新年に祈りをこめて
——もう半期、まだ半期——



会長 廣井武司

100年に一度という大不況の嵐が世界を襲っている。今年ほどのような年になるのだろうか？昨年よりは少しでもいい年になるようにと願わずにはいられない。

このような世界の中でもロータリークラブはその歯車を回転させ、ワイズメンズクラブは逆三角形のバランスをうまくとって止まることなく、その奉仕活動を続けている。

二度目の会長を拝命して半期を迎え、主題に合致した行動がとれているか？会員の心を考えているか？自問自答の毎日で少々髪が白くなってきたように感じる毎日です。

今年度の主題の友情の輪を広げようという願いは、少しずつですが、その広がりや夢を持てるようになってきました。

しかし、友情という点については不十分で、後期の課題としたいと思っています。和の心で話をなすことを願っているのですが、まだまだその意図は理解を得ていない様子です。

私自身パソコンが苦手で、今の時代では珍しいアナログ人間ですが、会長職を機会に、トレーニングを積んで、何とかメールくらいはできるようになってきましたが、それ以上は現在進展がありません。

連絡、報告、そのほか通信の手段として確かに便利で早く確実に伝達できることは間違いないのですが、気になることも多くあります。

メールでの意見交換についても文章化された文面は、その人の真意が十分に伝わらずに誤解を招いたり、いらぬ対立を招いたりすることがあるように思います。

私自身にもいろいろ忠告を頂いたこともありましたが、受ける方のコンディションで、心から忠告に感謝することもあれば、血液が逆流するほど怒りを感じる時もありました。所詮、人間とは感情の塊なのでしょうし、自分自身の未熟さもあるのかもしれない。

やはり大切なことは、「誠」の心を持って人と接し、友情の気持ちを込めて、顔を合わせて話すことではないでしょうか。(パソコンで意のままに文字が表現できないひがみかもしれませんが)私たちが例会という場で月二回顔を合わせる意味はここにあると思います。

後半期で気力を込めて行動したいと思います。今月の西日本区はIBC、DBCの強調月間です。私たちが今、東京サンライズクラブとのDBCに向けて準備を進めています。交流委員会が中心になって、みんなで一歩前進しましょう。

EMC委員会も早々に新会員を迎えるために力を発揮していただきます。みんなで協力してください。

もう半期、いやまだ半期残っています。歩みを止めないで行動しましょう。人生一度、あなたはどれだけの人と出会えますか？

私は自分一人では世界を変えることはできませんが、
水面に小石を投げ、数多くのさざ波を引き起こすことはできます
——マザー・テレサの言葉より——

12月第一例会

12月第一例会は、ウエルクラブとの合同例会でした。かつてプリンスクラブに在籍していた、なつかしいメンバーと、共に過ごせるのを楽しみにしていた例会です。ゲストスピーカーを招いての例会も有意義なものですが、やはりメンバーズピッチの例会は、和氣藹々としていて良いものです。ドライバー委員長の目指しているメンバー間の親睦が充分達成されている楽しい時間を持つことが出来ました。いつものように上手に話すメンバーもいれば、僕のように、何が言いたいのか解らん、事を話すメンバーもいますが、それぞれ個性があって、聞ていてすごく面白かった。

例会内容に関してはこれ以上特筆すべきことはありません。



三木貴夫

初めての合同クリスマス例会、それも4クラブ合同という賑やかな華やいだ例会となりました。



今日のクリスマス例会は、12月23日天皇誕生日の祝日にウエルステイン都市ホテル京都山城の間で開催されました。プリンスでは初

4クラブとは、めいぷるクラブ、トップスクラブ、ウエルクラブ、そしてプリンスです。出席人数は総数137名と100名を越え、中でもプリンスは47人で、4クラブ中トップでした。何故か、誇らしげな気持ちを抱いてしまったのは私だけではありません。私だけではなかつたことでしょう。プリンスメネット久しぶりの大人数15名をはじめ、メネットも多く出席され華やかなパーティーとなり、コメントも全部で20名と、我プリンスにとっては久しぶりにクリスマス例会らしい例会を味わうことが出来ました。



四クラブ合同クリスマス例会

小泉 洋



開会点鐘はめいぷるの松尾会長、開会の挨拶は4クラブを代表して廣井会長がされ、その後アトラクションとしてジャズビッグバンド「ココナツツクラッシュオーケストラ」による演奏が、ディナー前とウエルの永井会長による「メリークリスマス！」乾杯が始まったディナータイムにはバックにあり、20数名によるバンドの迫力を堪能しました。

次に、恒例の会長サンタクロースが登場し、コメント達の黄色い声が一段と増しました。そして、幾つになってもブレゼントがやはり欲しいのか、席をはずして交流、歓談していた皆さん全員がテーブルに戻りドアブライズが始まりました。今回は、メンバー全員が一人千円相当のブレゼントを持参してドアブライズの賞品の一部とし、超ビッグなドアブライズショーとなりました。進行担当は、西村ワイズとトップスの新山ワイズがされ、ユニークさと軽妙なタッチのトークで面白おかしく、そして笑顔で盛り上がりました。

そしてニコニコがあり、トップスの平間会長の開会挨拶で締めとなりました。4クラブ合同例会は初めてでしたが、人数が多い、メネット、コメントも多いという事でパーティーらしくなり、又、より素晴らしいアトラクションも費用的に頼める様になるという利点が確認出来ました。森委員長はじめ、4クラブのドライバー委員会の皆様ありがとうございました。

また、当日喜ばしいことに、例会前ホテルロビーにおいて、保さん、荒木さんのオリエンテーションが執り行われました。お二人ともメンバーになられる意思をお持ちですので、皆さん、入会ご承認の程よろしくお願い致します。



パパもご機嫌



入会意思表示



強力新人候補はなさへんで

次期に向けて 新年に思う事

金丸太一郎



早いもので廣井会長も期も半期が終わろうとしています。今期、廣井会長も前期西村の後を継ぎメンバー増強30名を目標に色々工夫されています。

次期も、プリンスクラブ25周年に向けてメンバー数50を目標にがんばって行きたいと思います。

今、世界的不況の中皆さん苦しいと思います、しかしこの苦しい今だからこそ「一党一派に偏しない正義をたえず追求する」ワイズメンズクラブに入会して、自己研鑽をして地域社会や、未来の子供達のために、家族と一緒に尽くさなければいけないのではないのでしょうか。

「二人の力で事業が成功することは絶対ない。一人の力が他人の協力を得たとき、初めて事業は成功する」とある経営者はおっしゃっています。プリンスクラブも皆さんの多く力が必要です、又若い力も必要です。

次期は25周年に向けてますます力をいれ頑張りますのでどうか協力よろしくお願います。

DBC締結に向けて

岡西博司



12月1日(土)の夜、長野県松本市で、サングライズクラブの会長である小山憲彦氏と会合を持つことになった。我プリンスクラブから森伸二郎君が同席していた。何か、突然の言い方でびっくりされたかもしれませんが、ゆつくりお話をさせて頂きます。

我プリンスクラブは、昨年より新しいDBC先を探しておりました。

今は沖縄しいーさあークラブとDBCを結んでおりますが、あんまり活動しておりませんというの、ちよつと遠距離の為、行来がしにくいとか、

そこで、簡単に行来がしやすい所にも一つくらい有っても良いのでは、という意見もあり、そこで、年齢構成や人数等も同じくらいのクラブということで東京サングライズクラブに白羽の矢が。14日の日曜日に、松本クラブの20周年記念例会が有り、その時にサングライズのメンバーが大勢来られるという話を聞き、委員長としては、この機会に是非とも話を進めたいという気持ちから、松本まで出て行くことになったわけでありです。

3日(土)の夜、長野県松本市で、サングライズクラブの会長である小山憲彦氏と会合を持つことになった。

- ・締結の趣旨及び目的
- 一 「ワイズライフを楽しく生き生きと！」をモットーにしたい。
- 二 共に出来る事業を考えて行きたい。

- ・締結内容
- 一 交流に関しては、クラブのメンバーが共に楽しめる何かを、少なくとも年一回以上考え、実行していこう。(何も無い場合はお互いの区大会にでも出かけ顔を見て酒でも酌み交わそう)
- 二 お互いの公式訪問みたいなものは、だんだんと負担になってくるといけないので、そういう類のものは決めない。
- 三 事業は、お互い交流を重ねながら前向きに検討して行こう。

- ・締結時期
- 一 サングライズクラブの20周年記念例会時に行う。日時、4月25日(土)東京の霞ヶ関ビル33Fのホール

- ・締結までのスケジュール
- 一 3月22日(日)のサングライズクラブの例会(お散歩例会)に我クラブより参加する。その後、メンバー(長津ワイズ)の店で懇親会を行う。
- 二 2月28日(土)に京都に来ていただき、プリンスクラブの特別例会に参加していただく。その後、懇親会を持つ。

年男



永濱貴章



岡西博司



小野敏明

今年も年男でもあり、還暦を迎えるという年です。この年にもなると思い起こせば永い歳月でもあり生を受けてから六十年さまざまながわが人生にもその記憶を辿れば、順風満帆ばかりでもなく、逆風もありいろいろな想いの中でこの年まで遣ってきました。

染織図案家を生活の業として妻を娶り一男を授かり、結婚生活も銀婚式を迎えました。息子も今年には二十三歳、大学院へ進むことになり、彼の進路は彼自身に任せる事とします。残り的人生、妻とどのように暮らしていくか？還暦を機会に今一度考える年になりそうです。

第一に健康に留意し、仕事はそこそこなし、妻とは共通の趣味を持ち、東にうまいものあればそれを食し、西においしい酒あれば友と飲み交わし、時折ボランティアに参加する。そんな半生としたいものです。

永濱貴章

今年で還暦である。よくぞここまで生きてこられた心底、そう思うのであります。毎日毎日、体をすり減らすように生きてきた。時間に追われ、しなければならぬ事が毎日僕を追いかけてきた。昨年の11月には、本当に膝の半月板が摩り減って割れてしまった。

今年「しみじみ教」に徹してみようと思っている。しみじみ教徒は、朝目覚めて、新しい一日にしみじみする。昼働ながら、あわただしい人生にしみじみする。夜寝る前に、いろいろあった一日を振り返ってしみじみする。良いことがあつてしみじみ、嫌なことがあつてしみじみ、嫌なことは、生きる意味と喜びを味わう最高級な方法なのである。

岡西博司

今年で三回目の「年男」。まずは無事に迎えられる事に感謝。以前の二回の大きな違いは「家族」を築けたこと。また、二人の子供にも恵まれた。

平均年齢を七五歳とすると、「年男」を迎えられるのもあと三回(多分無理)。そう考えると貴重な一年。特に大きな目標設定はないが、日々平穩に暮らせたらと思う。

小野敏明



リーダー希望で面接に来る学生は、ほとんどと言っていいほど、純粹でまだまだ「世間」知らずで、言葉使いも「こども」で、初めから安心して指導を任せられるということでは勿論ありません。

しかしながら、ディレクター、ボランティアの委員の方々、先輩の経験リーダーたちの指導よろしく、そして子供たちや保護者の方々の暖かいご支援によって、2年、3年と数多くの時間を真剣に生き抜くことで、それぞれの賜物に磨きがかけていっていき、光り輝くリーダーとなっていくります。子供たちの前や、保護者の方々とも「大人」の会話が可能な「遅い」指導者として育っていきます。そして何より、素晴らしい青年と育っていきます。

このリーダーたちの成長が、私たちYMCAの財産であり、彼らをサポートして下さっています。ワイズメン、会員、スタッフの力なる源でもあります。

ボランティアリーダーへの支援



支援のあり方は勿論、様々な形があると考えています。自らが積極的に参画できる場と機会を提供すること、

例えば日本語科の学生を対象としたプログラムをおこなっている国際リーダーの「日本語空間」や、野外のリーダーのキャンピングプログラム、病院訪問のプログラム、発達障害の子供たちのサポートプログラムをはじめとして、主体的に役割を担えるチャンスの創出。

そしてこれらのプログラムを継続的に、且つより実りあるものとするためにご奉仕いただくこと。例えば皆さんの知恵、情報やネットワークを提供していただくこと、什器備品などの供与、時にはワークを通じてのご奉仕やかかわる経費へのご支援。勿論様々な機会を通じての励ましのお言葉などが「大いなる」彼らの力となっております。また時には例会におよび頂き、ある緊張感のなかで、着慣れないスーツに身にまといスピーチをすることも育んでいただくチャンスとなります。

ただ私たちが気をつけたいといけませんのが、彼らのかい合う対象者は、あくまでも子供たちであり、障がいのある子どもたち、海外から日本にいられた留学生であり、その向かい合うべき人たちにむけて多くの時間を割き、トレーニングを、ミーティングをし、実施、評価会を行っていただきますので、その時間を大切にしてあげることだと思っています。

あるワイズメンスクラブの方々が、海外のYMCAからスタッフと何人かの青年が京都にいられたときに、例会にリーダーを招待し、食事の後、ゲストスピーカーのスタッフの講演はワイズメンが聞き、海外の青年と京都YMCAのリーダーは、その時間を帯は別室で青年同士で交流をする機会をあえてくださいました。新しく素晴らしい機会だと敬服いたしました。

青年が、リーダー自身が主体的に活動することへのサポートとしてひとつの視座ではないでしょうか。



YMCAリーダーに期待すること



これはただひとつ、YMCAのリーダーとしてだけでなく、社会にどんな影響を出して行くか、あるいは卒業をして益々社会に目を向けることができる青年になって欲しいと願っています。もっと言えば社会を変革することのできる青年になって欲しいということです。

卒業されたら、私たちの仲間として、お互いに切磋琢磨をし、共に社会に育まれ、社会を育むことのできる「人」になっていただければと思っています。

人が変わる時、変えられる時、あるいは社会が小さくも大きくも変えられる時というのは、すごく「感動」「エネルギー」があるときです。心揺さぶられた時に変革します。

リーダー時代に、そんな時間をYMCA内で、もしくはYMCA以外でも、たくさん得て、仲間や子どもたちと共有して、「YMCA」から、巣立ってくれることを望んでいます。

そして、家庭、地域社会ひいては国際社会で、YMCAが大切に行っていることを伝え、具現化ができればと思っています。

ぜひ今後とも、彼、彼女達をお支えいただきますようお願いいたします。



(写真は京都YMCA、YMCA同盟から転写)

2010年、ワイズでは横浜での国際大会開催があり、その同じ年、地球環境保護のための生物多様性条約第10回締約会議が開催されます。



生物多様性条約とは生物多様性は人類の生存を支え、人類に様々な恵みをもたらすものです。生物に国境はなく、日本だけで生物多様性を保存しても十分ではありません。世界全体でこの問題に取り組むことが重要です。

このため、1992年5月に「生物多様性条約」がつくられました。2008年10月現在、日本を含む190ヶ国とECがこの条約に入り、世界の生物多様性を保全するための具体的な取組が検討されています。

この条約には、先進国の資金により開発途上国の取組を支援する資金援助の仕組みと、先進国の技術を開発途上国に提供する技術協力の仕組みがあり、経済的・技術的な理由から生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組が十分でない開発途上国に対する支援が行われることになっています。

また、生物多様性に関する情報交換や調査研究を各国が協力して行うことになっています。

子供と自然と教育

私が住む京都上賀茂には世界遺産の上賀茂神社があります。自宅の目の前にあるので時々お参りをしています。そんなある夏の夕暮れ、いつものように神社の一の鳥居、二の鳥居をくぐり本殿へと向かう途中、流れている明神川の橋で、二人の男の子が遊んでいました。見るからに兄弟です。弟は小学校3年生くらい、兄のほうは小学校の5年生くらいでした。弟のほうは持っている虫を取る網で、川にそれをつけ何かを取ろうとしたとき、「こら、お前、ばちが当たるぞ」と兄が一言、それを聞いた弟君はすぐさま網を上げ、川にお辞儀をしました。



何かしら新鮮な感じがし、親御さんの人としての教育がきちんとされているのが目に浮かんでくるようでした。

ネイチャープログラム
YMCAにはネイチャープログラムがあります。東山荘はもちろん、六甲YMCA、横浜YMCA、もちろん京都YMCAにもあります。京都YMCAはグローバルアウトドアクラブというのをつくり子供たちが自然と親しみ、人も自然の一部であるということを感じるプログラムです。

私たちは地球上に住む生き物は私たち人間だけのものではないということも誰しも理解しています。しかし、頭ではわかっていても、子供から大人へと成長すると同時に、そのよくなことは忘れ、生き物への思いやりなどは消え去っていくのが案外普通なのかもしれません。

ネイチャープログラム



生き物への愛

他への愛を向けることは、私たち自身が生きていく上で大切な術なのかもしれません。生き物はそれぞれの役目を持ちこの世に生まれ、あるものは数時間で死を迎え、あるものは百年もの命を授かる。シロアリは山の倒木を分解し土へと戻す役割を持ち、鳥がえさとする果物の種は、鳥に食べられて鳥と一緒に特へ移動し、消化することも無く、糞と一緒に離れた地に落とされる。落ちやすいように種の多くは表面がぬるっとしているのです。すべてのことには意味があり、すべてのものの形には道理がなっているのです。

YMCAに集う子供たちは自然界に飛び込み、恐る恐る触る一匹の虫、何気なく咲いている花に気をとられ、危なっかしく丸太の橋を渡り、ロープにぶら下がり、また雪道を駆け抜ける。

いつの間にか森に溶け込んでいき、自然のすばらしさ、雄大さ、怖さを身に着けてくる。YMCAのプログラムは子供たちに自然のすばらしさを伝えています。

この地球を愛するために。生き物を愛せる人となるために。すばらしきかなYMCAの環境プログラム。



京都YMCAからのお知らせ

1. 2009年2月に京都YMCAは創立120周年を迎えます。

2008年もチャリティーラン、コンサート、街頭募金をはじめとした会員・地域活動、国際協力の活動をはじめ、三条本館を中心としたスイミングスクール、日本語科、福祉科の専門学校、そしてサバエキャンプ場、リトリートセンターでの多岐にわたるご支援を賜りましたことを感謝いたします。昨年も多くの青少年が参加者として、更にはリーダーとして参画をすることを通して、心身ともに生まれ豊かな時を過ごすことが出来たことをご報告し、心よりの感謝を申し上げます。

京都YMCAは本年2月に創立120周年を迎えます。この120周年を機にYMCAでは、5年後の125周年(2014年)に向けて、私たちの「京都YMCAのあるべき姿」を「PLAN125」として構築すべく取り組みをはじめていきます。このプランは、YMCAの使命を果たすべく方向性を探り、事業、組織の有り様などを「公益法人制度改革」を考慮しつつ、検討し構築するものであります。2月の創立記念集会、5月に行われます総会、京都青年をはじめ適時ご報告し、皆様と共に策定いたします。

2. 正会員希望者のためのYMCAオリエンテーション講座

京都YMCAの願いと会員活動をよりよく知っていただくために正会員としてYMCA運動を積極的に担っていただくという意欲のある方を対象にYMCAについての理解をより一層深めてもらうための講座です。

日時 2009年1月30日(金) 午後7時～9時

場所 京都YMCA三条本館 201号室

対象 京都YMCA会員として3年以上の方、またはキリスト者で正会員として志のある方

申込方法 申込書に必要事項をご記入のうえ1月27日(火)までにYMCA受付またはFAX、E-mailにて申込みください。

3. 創立120周年会員集会

日時 2009年2月14日(土)

第1部 記念礼拝 午後4時～4時40分

於：聖公会 聖アグネス教会

第2部 テーマ 「京都YMCA125年」を語ろう

午後5時～6時30分

於：平安会館

4. チャリティーコンサート

収益金は、インドのハンセン病患者・家族支援と京都YMCA活動費に使われます。

日時 2009年1月24日(土) 開場 午後5時30分 開演 6時

場所 日本キリスト教団 洛陽教会 (丸太町寺町上る)

料金 2,500円

出演 陣内 大蔵

(シンガーソングライター・2007年春より日本キリスト教団東美教会伝導師に就任)

※チケットはYMCA受付にて販売致しております。

5. スキーキャンプ 参加者募集

白山スキー 日程 2009年2月13日(金)夕～15日(日)夜

2泊3日(2泊7食)

対象 小学1年～6年

行先 石川県 白山瀨女高原スキー場

宿泊先 金沢学院大学白山麓研修センター

費用 41,000円

6. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第22回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 2009年1月17日(土) 午後7時～9時

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人 300円(お茶代等)

※上記プログラムに関するお問い合わせ・お申し込みは

電話(075) 231-4388

FAX(075) 251-0970

E-mail kyoto@ymcajapan.org

1月の予定

9日(金) 第一例会(新年例会) 19:00～終わるまで

21日(水) 第二例会(半期総会) 19:00～21:00
グランドプリンスホテル京都

23日(金) 三役会 廣井会長宅

28日(水) 役員会 廣井会長宅

2月の予定

4日(水) 第一例会(TOF例会) 19:00～21:00
グランドプリンスホテル京都

8日(日) チャリティーボーリング
しょうざんボウル

18日(水) 第二例会(通常例会) 19:00～21:00
グランドプリンスホテル京都

20日(金) 三役会 廣井会長宅

22日(日) 車椅子駅伝

25日(水) 役員会 京都YMCA

役員会報告

第一号議案：新年例会登録費 承認

メン ¥2,000

メネット ¥5,000

ゲスト ¥6,000

第二号議案：磯谷君の委員会配属 承認

第一グループにする。

第三号議案：次期会長選出の件 承認

古川安雄君を推薦。

ハッピーアニバーサリー



今月はありませんでした。

ハッピーバースデー



14日 森伸二郎 君

17日 森 閑樹 コメット

18日 西堀久美子 メネット

19日 小野瑞穂 メネット

19日 利川千英 メネット

19日 毛利亮太 コメット

